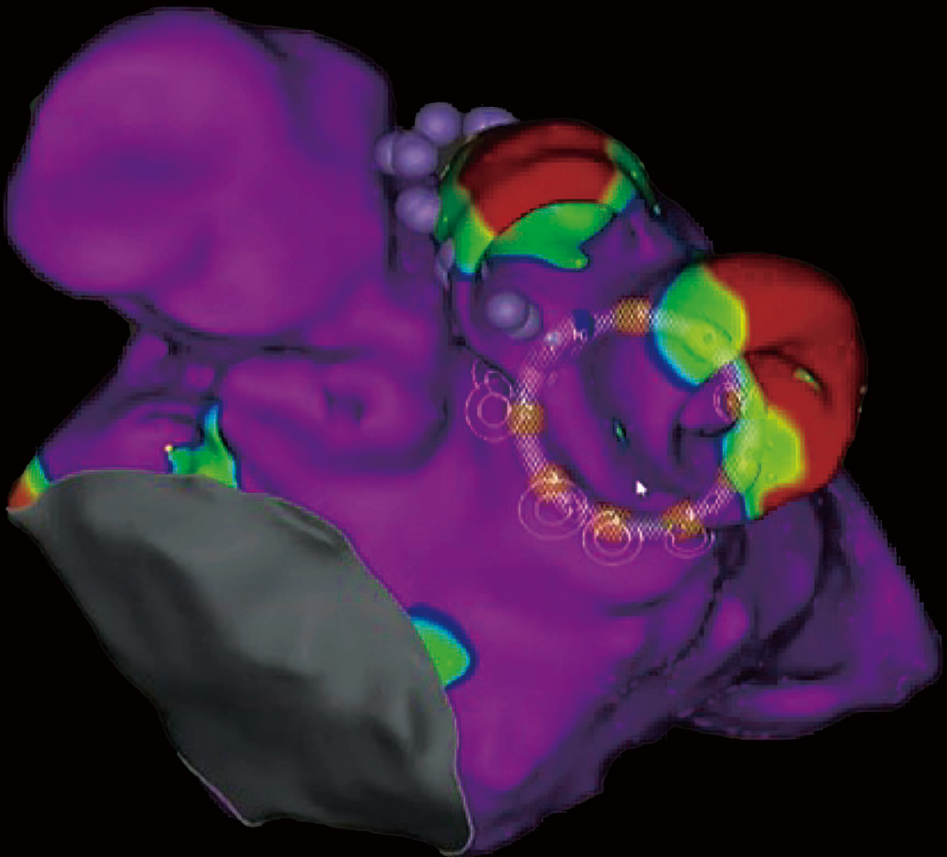


小倉記念病院 循環器内科日より

つなぐ

Vol.70

2024.5月



カテーテルアブレーション治療に従来と全く異なる新技術が日本国内で誕生した。

現在、心房細動をはじめとする不整脈治療では、カテーテルアブレーションが広く行われている。当院では年間約1,000例のアブレーション治療を行い、そのうち高周波アブレーションが80%以上を占めるが、近年では冷凍バルーン、レーザーバルーンにも積極的に取り組んでいる。

2023年12月、3次元マッピング技術を搭載した新しいテクノロジーであるパルスフィールドアブレーション(PFA)が日本で初めて薬事承認された。PFAは、瞬間的な高電圧パルスにより発生するパルス電場を利用し、細胞膜表面に不可逆的な細胞死を引き起こす非熱メカニズムだ。治療時間が従来の治療と比較し短縮されること、またターゲットとする心筋細胞のみを選択的にアブレーションすることで、熱を介した合併症を低減できる可能性が期待されている。この革新的な技術を提供するために私たちは第一歩を踏み出した。

心房細動は脳卒中の原因の約3割を占めている。さらに日本では高齢化に伴い、今後も心房細動の患者増加が予測されている。心原性脳梗塞予防の観点からもPFAは心房細動の根治治療の選択肢を大きく広げる可能性を秘めている。

医療の技術革新は低侵襲による治療後のQOL向上につながる。私たちはこれからも患者さんの未来を切り拓くための挑戦を続けていく。



第78回

小倉循環器内科セミナー

2024年 6月4日(火) 18:00~18:30開催



新しいアブレーション手法 パルスフィールドアブレーションとは?

座長 小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤献児

講師 小倉記念病院 循環器内科部長 永島道雄

参加方法



ZOOMによる
WEB参加のみとなります!

ZOOMの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。

PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民
公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研修会
→④zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

